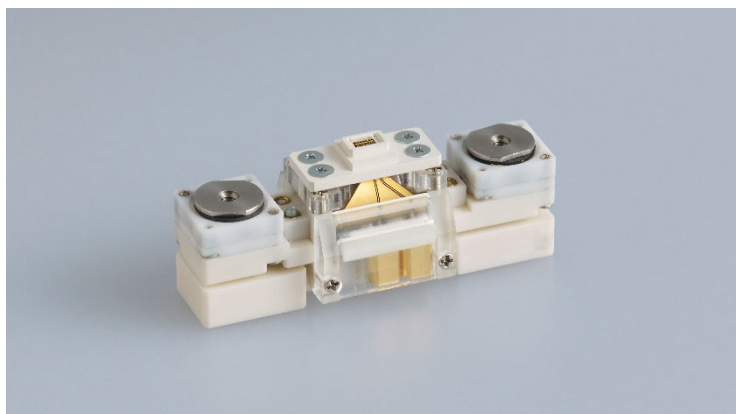


NEWS RELEASE**28GHz 帯 5G スマートフォン向けの
BtoB コネクター検査治具(RF-FPC™)を開発**

～ 長年培ってきたヨコオの高周波技術を生かし、ヨコオ初の 28GHz 帯を実現 ～



28GHz 帯 5G スマートフォン向けの BtoB コネクター検査治具(RF-FPC™)

株式会社ヨコオ(本社:東京都千代田区、社長:徳間孝之)は、このたび、ヨコオとして初めて、28GHz 帯 5G スマートフォンなどのモバイル端末向け BtoB コネクター検査治具を開発し、来月 11 月 30 日から 12 月 2 日まで行われる**マイクロウェーブ展(主催:電子情報通信学会 場所:パシフィコ横浜)**に出品します。

電子機器や電子部品を製造するうえで欠かせないのが、検査工程です。その検査工程において、製造個数が少ない場合は、製品に使われているコネクターをそのまま使用し電気や信号を流して検査を行うことが多いのですが、製造数が多かったり、検査回数が多かったりするときに、容易に検査を行えるよう専用の電気検査治具が用いられる場合があります。

今回、ヨコオとして初めて開発した 28GHz 帯 5G スマートフォン向けの BtoB コネクター検査治具(RF-FPC™)は、電子基板に取り付けられたコネクターに接続して検査を行う治具です。

従来品は、基板やコードの先にプローブを取り付け、そのプローブをコネクターなどの検査対象物に接触させて検査する部品構成をしていたのですが、新規開発品は、それらの部品を FPC 一つにすることで、信号のロスを大幅に削減することに成功し、かつ FPC の先端部分にスリットを入れることで、コネクターなどの電極端子の凹凸にも追従しやすくなり、耐久性も大幅に高める事に成功しました。

また、従来品はプローブを利用してインピーダンス特性を得るため、治具本体は金属で作る必要があったのですが、本製品は、インピーダンス特性は FPC に、プローブは FPC をコネクターなどの電極端子に押し付けるためだけに使用するため、本体を樹脂にすることが可能となり、本体の設計自由度が増したことで、より小さい製品の検査にも対応することが可能になりました。

ヨコオは、1979 年に半導体検査事業(CTC 事業)をスタートさせ、その技術を応用して 1996 年から電気検査市場向けの治具の通信販売(DS 事業)を行っています。

今回、ヨコオとして初めて 28GHz 帯の検査治具を開発しましたが、今後も研究開発を継続し、その他の高周波向け検査治具製品のラインナップを増やすことで、高周波検査治具市場に貢献してまいります。

<参考資料>

■ 28GHz 帯 5G スマートフォン向けの BtoB コネクタ検査治具 (RF-FPC™) の先端



■ 特徴

- ① 被検査物の電極高低差に追従可能なスリットコンタクター
- ② フォトリソパターニングによる高精度配線
- ③ 柔軟な曲げ加工
- ④ 高い設計自由度

(注) ニュースリリースに記載されている内容は報道発表日時点の情報です。その後、予告なしに変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

◇ 販売に関するお問い合わせ先

株式会社ヨコオ DS 事業推進部

TEL: 03-3916-3141

E-mail: ds@jp.yokowo.com

HP: <https://yokowods.co.jp/contact-us/>

◇ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ヨコオ 広報・株式部 松本 / 禅院(ぜんいん)

TEL: 03-3916-3179

携帯: 080-2275-3255(松本)

E-mail: h-matsumoto@jp.yokowo.com